

はじめに

～実験を実施するにあたっての注意事項～

本実験実践年報は本来、小学校4年生から6年生を対象として大阪教育大学柏原キャンパスで実施している公開科学実験講座である「子と親の楽しいかがく教室」で配布して使用された実験書を、一部改編して学校や家庭で使用できるようにしたものです。しかしながら、2020年度は新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るった年であり、その拡大を防止するために、「子と親の楽しいかがく教室」の開催を中止としました。外出の自粛が呼びかけられて、各学校も学級閉鎖が行われた年でした。そのような中、せめて家の中でできるような科学実験を紹介することができればと思い、本巻では家庭でもできる実験を中心とした実験をいくつか紹介しております。比較的簡単に各家庭で行うことができるような実験については、オープンアクセスにしておりますので、登録申請をすることなく閲覧することが可能です。理科離れという言葉をよく耳にする昨今で、一人でも多くの児童が科学に興味を持っていただけましたら幸いです。

本実験実践年報を参考に実験を行う場合は、安全をしっかりと確保したうえで、自己責任のもと行ってください。実験集にある薬品の量を増やしたりしただけでも、危険を伴うようなことがあります。使用する薬品等の量は、守って実験を行ってください。

児童の方が実験を行う場合は、必ず先生や保護者の方に相談をして、安全を確認したうえで実験を行ってください。安全を自分で確保することも含めての実験です。

大阪教育大学わくわくかがく実験グループ

編集責任者 種田 将嗣

©2021 大阪教育大学わくわくかがく実験グループ

本誌掲載内容の無断複製・転載を禁じます。